

令和4年4月1日

主催者 各位

ホールのご利用について

ホールをご利用になられる主催者様におかれましては、以下の内容にご留意いただき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、この取扱いは、今後の感染の動向のほか、政府等の対処方針の変更により、適宜改定を行います。

利用日時点の取扱いが適用されますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

1 基本的な感染拡大防止対策として、関係者、来場者等に周知、徹底をお願いいたします。

①正しいマスクの常時着用

◆マスク使用時には鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用してください。

②手指の消毒や手洗いの徹底

③大声を出さないこと、咳エチケットの徹底

④相互の社会的距離の確保

⑤厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」のインストールや「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」の通知サービスの活用

⑥平熱と比べて高い発熱がある方や次の症状等に該当する方は、来館しないでください。

◆咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状

◆PCR等の検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合

◆過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 など

2 客席

①来場者による大声での歓声、声援、唱和等がない催物については、必要となる感染防止対策を総合的に講じたうえで、収容定員までの配席数でご利用いただけます。

【405席】

②大声での歓声、声援、唱和等が想定される催物については、正しいマスク着用と発生抑制の周知及び主催者による個別注意など、必要となる感染防止対策を総合的に講じたうえで、収容定員の50%以内でのご利用となります。

（異なるグループ間では座席を1席空けてください。

親子等の同一グループ（5名以内）では座席間隔を空ける措置は不要です。）

【202席】

③ワクチン未接種年齢層や高齢者が多数来場すると見込まれる催物については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

3 舞台上（練習利用含む。）

- ①その表現形態に応じて、演者間で十分な間隔（最低1m）を取るなど、可能な限り感染防止に努めてください。
- ②客席の最前列席は、舞台上（演者）から十分な距離を取ってください（最低でも水平距離で2m以上を設けてください。）。
- ③緞帳前を使用しての演出については、客席の最前列から十分な距離を取ってください（最低でも水平距離で2m以上を設けてください。）。
- ④感染リスクが高まるような演出（声援を求める、来場者を舞台上に上げる、ハイタッチをする等）は控えてください。
- ⑤仕込み・リハーサル・撤去等において、余裕あるスケジュールを設定し、密な空間の防止に努めてください。
- ⑥舞台軸、舞台裏、楽屋等の狭いスペースでの待機時など、マスクを外しての会話は控えてください。
- ⑦機材や楽器、用具等の取扱者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- ⑧表現上困難な場合を除き、施設内では正しいマスク着用を徹底してください。
- ⑨その他、稽古や仕込み・撤去等においても、十分な感染防止対策をお願いいたします。
- ⑩当日、入館直前に関係者等の検温（検温器は主催者側でご用意ください。）を行い、平熱と比べて高い発熱がある方には自宅待機等の対応をお願いいたします。

4 楽屋・控室

- ①通常の利用定員の2分の1以内でのご利用となります。

楽屋1号	楽屋2号	楽屋3号	主催者控室
5名	6名	5名	2名

- ②大声での発声、歌唱、管楽器等による音出しは行わないでください。
- ③催物等の前後に手指消毒を徹底してください。
- ④施設内では正しいマスク着用を徹底してください。
- ⑤近接した距離での会話等は避けてください。
- ⑥ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用してください。
- ⑦利用の際に出たゴミは、お持ち帰りください。

5 親子室

- ①親子室はご利用いただけません。

6 来場者等

- ①入場口付近で来場者の検温（検温器は主催者側でご用意ください。）を行い、平熱と比べて高い発熱がある方にはご入場をお断りください。
- ②客席内では正しいマスク着用を必須とし、未着用の来場者に対しては配布（主催者側でご用意ください。）や販売、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- ③来場者の案内や誘導に際しては、密が発生しない程度の間隔（最低1m）を取って

ださい。

- ④休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設定してください。
- ⑤休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように来場者にご周知ください。
- ⑥入退場時の密集回避のため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を行うことにより、密が発生しない程度の間隔（最低1m）を保持してください。
- ⑦大声を出す方がいた場合は、個別に注意等を行ってください。
- ⑧入場時のチケットもぎり等の簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認）を検討してください。
- ⑨チラシ、パンフレット、アンケート等は据置きとし、手渡しの場合には係員の手指消毒若しくは手袋着用（主催者でご用意ください。）を徹底してください。
- ⑩催物後の面会など、演者、催物関係者と来場者の接触やプレゼントや差し入れ等は控えてください。
- ⑪来場者、演者、催物関係者など、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ることなどを制限）してください。
- ⑫来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、アクリル板や透明ビニールカーテン等（主催者側でご用意ください。）の間仕切りを設置してください。また、係員は、マスク、手袋（主催者側でご用意ください。）を着用してください。
- ⑬公演中の携帯電話等の抑制は、電源オフではなく、接触確認アプリの作動を妨げないように電源をオンにしたうえで、「マナーモード又はフライト・機内モード」に設定するようアナウンスしてください。

7 その他

可能な範囲で演者、催物関係者、来場者等の氏名及び緊急連絡先を把握し、作成した名簿を一定期間（概ね1箇月）保持してください。こうした情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供するため、利用終了後に会館側が主催者から提出を求める場合があります。

なお、個人情報保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄してください。

ご不明な点がございましたら、会館職員にお問い合わせください。

京都市北文化会館